

ミクリゼキショウ

Juncus ensifolius Wikstr.

イグサ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

石川県内にもともと稀産する植物であるが、生育環境の高山(白山)の湿地、水辺は近年減少しつつあって、絶滅の危険が増大している。(現況:RO)

形態

イグサ属植物は形態が似ている場合が多いので、同定には注意を要する。花には小苞がなく、茎は二稜形で狭い翼がある。茎葉は3~4箇、長さ10~17cmで剣状線形、葉耳は小形。頭花は普通2個つき、球形で径8~10mm、短い柄がある。和名は葉と頭花の形にもとづく。花被片は披針形ですどく尖り、黒褐色。

国内分布

本州中部以北、北海道。国外では千島、北アメリカに分布。

県内分布

白山高地区。

生態など

多年草草本。開花期は8~9月。

生育環境

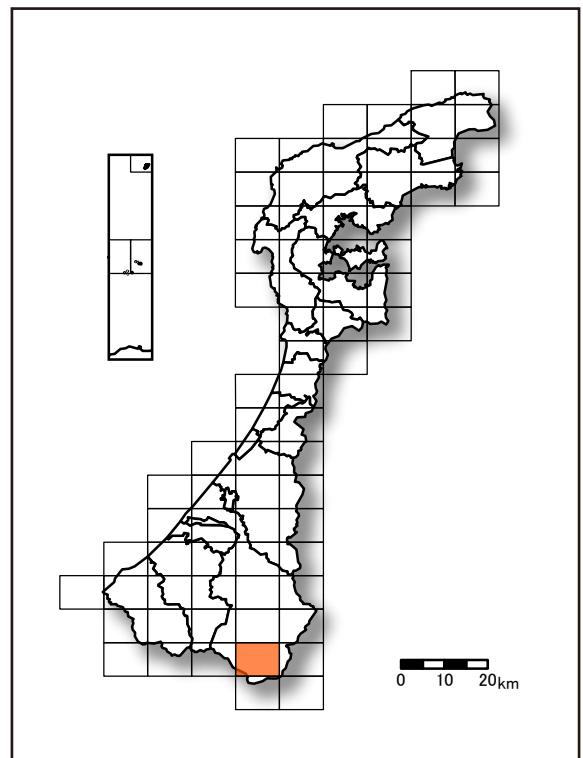
高山の湿地・水辺。

危険要因

自然遷移、産地局限。



白井伸和・2001年9月5日・白山



県内の分布